

概要	○ 令和8年8月6日（木）、熊本県宇城市において林野火災が発生。地元消防等が消火活動を実施するも鎮火に至らないことから、同日1640、熊本県知事から陸上自衛隊西部方面総監（健軍・熊本県）に対し、空中消火に係る災害派遣要請があり同時刻受理。 ○ 同日1911以降、陸上自衛隊西部方面航空隊（高遊原・熊本県）が空中消火等を実施。
自衛隊の主な活動	1 航空機の態勢（2機態勢） ○ 空中消火 ・ 陸上自衛隊西部方面航空隊のCH-47×1機（高遊原・熊本県） ○ 映像伝送 ・ 陸上自衛隊西部方面航空隊のUH-1×1機（目達原・佐賀県） 2 連絡員の派遣（2箇所12名）※令和8年熊本地震に係る情報収集のため派遣されている連絡員を含む。 ○ 熊本県庁：陸上自衛隊西部方面総監部×7名 陸上自衛隊第8師団司令部（北熊本・熊本県）×3名 ○ 宇城市役所：陸上自衛隊第42即応機動連隊（北熊本・熊本県）×2名

位置関係図	活動の様子（イメージ）
陸上自衛隊西部方面航空隊（目達原駐屯地） 陸上自衛隊第42即応機動連隊（北熊本駐屯地） 陸上自衛隊西部方面航空隊（高遊原分屯地） 萩尾溜池 【凡例】 ●：火点 ●：駐屯地等 ●：取水点	CH-47が散水する様子